



令和5年12月 市議会定例会

令和4年度の決算を認定

平塚市議会は、令和5年11月29日から12月22日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の改正や令和5年度補正予算、人事案件など28案件が提出されました。審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

なお、9月定例会で提出され継続審査となっていた、令和4年度決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会での審査結果を受け、認定、可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



上…姉妹都市提携の調印式が行われたリトアニア共和国のカウナス城

左…カウナス市旧市街

今定例会では、子育て施策を中心とした市民サービス・利便性の向上を図るための事業経費が計上されたほか、脱炭素社会の実現に向けた経費や不足が見込まれる経費などの一般会計補正予算が提案されました。

主なものとして、マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」を推進するノーマライズシステムの導入経費320万円や障がい児通所サービスの利用件数の増加及び支給基準の拡充を図るための経費として1億8965万4千円が計上されたほか、保護者の負担軽減などを目的とした保育所などにおける「手ぶら保育」の促進に向けて主食の提供を開始するための準備経費として408万8千円などが計上されました。

常任委員会では、中小企業に向けた金融支援の状況や、新たに購入する美術品の集客の効果、びわく少年の家で剪定や伐採を予定している危険樹木の本数などが問われたほか、平塚市リサイクルプラザについて施設の耐用年数や、これまでの委託料との差異について質疑がありました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

また、第5日目には追加議案として、物価高騰の影響を受ける市民及び市内事業者に対し、基礎自治体として、地域の実情に応じたきめ細やかな対策を迅速かつ切れ目なく講じる必要があることから、これらに対応するための一般会計補正予算が計上されました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆平塚市みどり基金条例の一部を改正
平塚市みどり基金の設置目的に脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進を加えることに伴い、規定を整備するほか、所要の改正を行うための条例が提案されました。

質疑では、条例改正を行うことのメリットや趣旨、脱炭素に向けた本市の取り組み内容などが問われました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆指定管理者の指定
指定管理者の指定に関する6議案について、採決の結果、全員異議なく可決しました。

令和6年4月1日から、勤労会館は2年間、土屋霊園、市営住宅及び共同施設などの施設は5年間、指定管理者が管理・運営を行います。

◆人事案件に同意
任期満了を迎える教育委員会委員の任命と、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

○増井峰夫氏(大神二丁目)
〔教育委員会委員〕

○人権擁護委員
〔人権擁護委員〕

○朝倉 隆氏(花水台)
○朝倉 友子氏(袖ヶ浜)
○府川 文子氏(南原二丁目)

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
野崎審也 数田俊樹 片倉章博	
しらさぎ・無所属クラブ	4
白井照人 渡部 亮 江口友子	
公明ひらつか	5
上野仁志 岡崎通子 五十嵐豊	
湘南フォーラム	6
小泉春雄 出村 光 久保田聡	
日本共産党平塚市議会議員団	7
高山和義	
無所属	7
佐藤由美子	
常任委員会の審査概要	7面
審議の結果	8面

